(仮称)長野市民文化芸術会館 芸術監督内定等について



新会館大ホール

目 次

1 芸術監督内定等について

1 芸術監督内定について

選定要件

視点1 音楽を中心として幅広いジャンルに対応できる人

新会館のホール特性に合う音楽を中心に、企画制作面において 充分な実績と経験を有していること

視点2 あらゆる世代を対象として事業展開できる人

子どもから大人までを対象とした、自主事業の企画・展開が期待できる人物であること

視点3「長野らしさ」を演出できる人

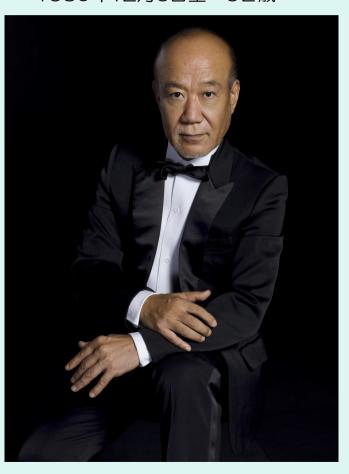
長野に対する理解が深く、何らかの縁があり、「長野らしい」事業 構築や創造の実現が期待できる人物であること

視点4 強い発信力を有する人

内外に向けて広く、本市の文化芸術事業のPRが期待できる人物であること

久石 譲氏

- ひさいし じょう 本名:藤澤 守
- 1950年12月6日生 62歳



芸術監督内定者

- 作曲家(クラシック音楽・映画音楽・現代 音楽)・ 編曲家・指揮者・ピアニスト
- 国立音楽大学招聘教授、新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ初代音楽監督(2004年就任)
- **中野市出身、須坂高校**~国立音楽大学作曲 科卒業
- 国立音楽大学在学中より、現代音楽の作曲 家として出発、宮崎駿監督作品など数々の 映画音楽を手掛け、国内外で高く評価され ている
- 1998年、長野パラリンピック冬季競技大会 では総合演出 を手掛ける
- 日本アカデミー賞最優秀音楽賞を計7回、 1997年度芸術選奨新人賞(大衆芸能部門)を受賞。2009年には紫綬褒章を受章

主な活動実績

- 1981年から多数のソロアルバムを発表、作曲だけでなく指揮・演奏・プロデュースをも手掛け、ジャンルにとらわれない独自スタイルを確立
- 1984年、映画「風の谷のナウシカ」以降「となりのトトロ」など宮崎駿 監督の音楽を担当、北野武監督「HANA-BI」、滝田洋二郎監督「おくりび と」など数々の映画音楽を手掛け、2001年には自らも「Quartet(カル テット)」で映画監督デビュー
- 1998年、長野パラリンピック冬季競技大会テーマソング「旅立ちの時 ~ Asian Dream Song~」を作曲
- 2008年、**宮崎駿監督作品のみのコンサート**「久石譲in武道館〜宮崎アニメ と共に歩んだ25年間〜」**を開催、管弦楽と混声合唱・児童合唱、吹奏楽、** マーチングバンドを含む総勢1200名の大規模編成を指揮・ピアノで共演。
- 2009年から指揮者としても本格活動を開始、「久石譲クラシックス・シリーズ」では、積極的にクラシック音楽を取り上げたコンサートを開催
- 2010年アジア・オーケストラツアーでは10都市16公演を敢行
- 2011年、東京ニューシティ管弦楽団を率い東日本大震災支援チャリティーコンサートを開催。
- 近年は本名の「藤澤守」名義による作品も発表し、幅広く活動中

(仮称)長野市民文化芸術会館運営体制等検討委員会における 芸術監督選定の経過

- 第1回検討委員会(4月12日) 芸術監督の選定要件として四つの視点を確認
- 第2回検討委員会(4月19日) 久石氏を芸術監督候補者として選出(満場一致)
- 要請(5月8日) 久石氏へ芸術監督就任の要請に伺う ⇒ **久石氏から快諾をいただく**
- 第3回検討委員会(5月17日) 就任要請の結果を報告し、委員会として久石氏を芸術監督に選定

〈要請時にいただいた言葉〉

- 芸術的な良いものを創るには時間も経費もかかる。一体感を持って同じ方向へ 進めるような組織体制を整備して欲しい。
- 定期的な自主事業を行い、貸館事業も積極的に入れて、会館の稼働率を高めることが大切。
- 世の中に認められて事業が軌道に乗るまでに3年はかかる。道のりの長いマラ ソンのような事業である。

(参考) その他主要ポストの人選

館長	大橋 聖一氏 (現佐久穂町出身) ・信濃毎日新聞社事業局長 ・長野県写真連盟会長 ・公益財団法人信毎文化事業財団評議員
副館長(育成担当)	地上 貴司 氏 (長野市出身) ・東京都立総合芸術高等学校音楽科講師 ・長野県小諸高等学校音楽科講師 ・日本ファゴット(バスーン)協会理事
副館長(事業担当)	人選について現在調整中